



2022年11月10日

各 位

会社名 株式会社ヨコオ  
 代表者名 代表取締役兼執行役員社長 徳間孝之  
 (コード番号 6800 東証プライム市場)  
 問合せ先 取締役兼執行役員専務 深川浩一  
 (TEL 03-3916-3111)

営業外収益（為替差益）の計上及び2023年3月期第2四半期連結累計期間の  
 業績予想値と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

営業外収益（為替差益）の計上及び2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異並びに通期業績予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上

当第2四半期連結期間（2022年7月1日から2022年9月30日まで）において、急激な為替相場の変動により、為替差益1,023百万円を営業外収益に計上いたしました。

第1四半期連結期間（2022年4月1日から2022年6月30日まで）においては為替差益1,916百万円を計上済みであるため、当第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）におきましては、為替差益2,940百万円を営業外収益に計上しております。

なお、上記の金額は、当社グループが保有する外貨建て債権・債務の決済及び期末為替レートによる評価替えで発生したものであり、今後の為替相場の状況により変動いたします。

2. 第2四半期連結累計期間（2022年4月1日～9月30日）の業績予想値と実績値との差異

	前回発表予想 (A) (2022年8月4日 公表)	今回実績 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前年同四半期累計実績 (2021年4月1日～9月30日)
売上高 (百万円)	37,900	40,207	+2,307	+6.1	30,969
車載通信機器	20,500	22,162	+1,662	+8.1	18,843
回路検査用コネクタ	12,600	13,054	+454	+3.6	7,540
無線通信機器	4,800	4,989	+189	+4.0	4,585
営業利益 (百万円)	2,700	3,507	+807	+29.9	2,003
車載通信機器	△2,000	△1,475	+524	—	△488
回路検査用コネクタ	4,200	4,388	+188	+4.5	1,755
無線通信機器	500	593	+93	+18.8	736
経常利益 (百万円)	3,700	6,538	+2,838	+76.7	2,202
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (百万円)	2,450	4,179	+1,729	+70.6	1,526
1株当たり四半期純利益 (円 銭)	105.1	179.28	—	—	66.86

3. 通期（2022年4月1日～2023年3月31日）の連結業績予想の修正

	前回発表予想 (A) (2022年8月4日 公表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)
売上高 (百万円)	76,000	80,000	+4,000	+5.3	66,848
車載通信機器	41,600	45,900	+4,300	+10.3	40,081
回路検査用コネクタ	24,800	24,500	△300	△1.2	17,625
無線通信機器	9,600	9,600	—	—	9,141
営業利益 (百万円)	7,000	7,400	+400	+5.7	4,684
車載通信機器	△2,000	△1,450	+550	—	△1,443
回路検査用コネクタ	8,000	7,800	△200	△2.5	4,871
無線通信機器	1,000	1,050	+50	+5.0	1,256
経常利益 (百万円)	8,000	9,600	+1,600	+20.0	6,529
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	5,500	6,250	+750	+13.6	4,663
1株当たり当期純利益 (円 銭)	235.94	268.11	—	—	202.28

4. 理由

(1) 第2四半期連結累計期間

売上高につきましては、円安効果などによりすべてのセグメントが増収となった結果、予想値を上回りました。

営業利益につきましては、増収に伴う増益に加え、車載通信機器セグメントにおけるコストアップ分の一部回収、在庫評価に係る未実現利益控除額減少などにより、予想値を上回りました。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、円安による為替差益 2,940 百万円の計上（前回予想時は為替差益 1,000 百万円の見込み）などにより、予想値を上回りました。

(2) 通期

売上高につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績及び第3四半期以降の受注見込みを踏まえ、上記3. のとおり修正いたします。

営業利益につきましては、回路検査用コネクタセグメントにおいて前回予想に比べて若干の減益が見込まれますが、車載通信機器セグメントにおいて、海上運賃の沈静化や生産現場における大胆なコスト削減及び販売価格の見直しなどにより大幅な損益改善が見込まれることから、上記3. のとおり修正いたします。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、想定為替レート 1 米ドル=140 円のもと、為替差益が上期より 630 百万円縮小することなどを見込み、上記3. のとおり修正いたします。

(注) 本資料に記載の予想数値は、公表日現在入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上